

令和3年10月29日

所属長各位

市長 望月良男

令和4年度の予算編成方針について（通知）

令和4年度の予算編成にあたり、全職員においては次の事項を強く念頭に置いて取組まれたい。

現在進めている全ての施策において定型的・機械的に推進するのではなく、常に検証し、不断の見直しや改善を加えるなど、ありがたい姿へ到達するため「どう変化させることで、将来どのように成長させるのか」という思考のもと、常に考え抜く姿勢で臨むこと。【施策の成長】

そして、一つひとつ着実に変化・成長させるためには、「何をすべきか、自分はどうすべきか」問い直し、実践することで組織及び職員一人ひとりも成長を遂げること。【組織の成長】

以上、2つの事項を十分留意のうえ、下記の方針に基づき予算編成を進めることとするので通知する。

記

第1 地方財政を取り巻く環境と本市の財政状況

政府が本年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2021」（骨太の方針）では、新型コロナウイルス感染症による甚大な影響を機に、デジタル技術を活用した働き方の多様化、環境問題への意識の高まり、地方での暮らしへの関心の高まりなど、未来へ向けた変化が大きく動き始めているとしている。また、4年後の2025年には「大阪・関西万博」の開催が予定されており、大阪をはじめとする近畿圏への来訪者が期待される。

地方都市である本市においても、単に来訪者を待つだけでなく、まちの魅力をさらに磨き上げ、3年後に実現すべき取組、5年後に向けたまちづくり、10年後の目指すべきデザインをしっかりと描き、本市が今後飛躍を遂げるチャンスと捉えなければならない。

一方、本市の財政状況を見ると、一般会計の令和2年度決算は、ふるさと応援寄付や大型投資の影響を受け、また、令和3年度当初予算及び補正予算は、前年度決算の要素を引き継ぐとともに新型コロナウイルス感染対策経費などにより、それぞれ過去最大の規模となっている。しかしながら、ふるさと応援寄付は本市において年々増大しているものの、自治体間の競争も激化していることから、現状の寄付受入れ水準を維持しつつ、さらに高みをめざす取組が必要である。

そうしたなか、新型コロナウイルスワクチン接種を推進しつつ、「有和中学校建設事業」や「BIG SMILEプロジェクト」、「Marry You」の推進など、未来に向かった投資として取組む複数の重点施策が一つひとつ着実に進んでいるところである。これらの既定事業に加えて2年目の第5次長期総合計画や中間年となる まち・ひと・しごと創生総合戦略への取組のほか、新たに新市立病院基本構想の策定や市立保育所再編基本計画を踏まえた取組が求められるなど、後年度の必要経費は更に増える見通しであり、歳入歳出両面から徹底した見直しと真に必要な施策・事業への財源集中が必要である。

第2 令和4年度市政運営の基本的な考え方

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症への対応を図りつつ、引き続き、少子化対策や子育て支援、移住定住の促進は、重要な柱の一つとして強化するとともに、未来に向かった『変化への投資、継続・成長への投資、持続可能な自治体経営への投資』に積極的に取組むものとする。

そのためには、これまで積み増してきた各種基金や国県の補助金等を積極的に活用するべく財源の確保に努めるとともに、今後見込まれる国の令和3年度補正予算の動向によっては、有用な財源となる補助金等を的確に捉え、本市においても早期の実施が求められる事業を令和3年度に前倒して補正予算措置し、令和4年度予算と併走した事業執行に取組むなど、所与の課題に対して柔軟かつ着実な推進を図ること。

そして、各所属がそれぞれの使命を明確に認識し、組織全体が経営感覚を持ち、スピーディーで的確な政策判断ができるよう心掛け、所属長の権限と責任のもとマネジメント機能を発揮されたい。また、少子高齢化やコロナ禍による税収入への影響を視野に入れ、財政規律を守るとともに、ポストコロナを見据え、市民に寄り添うべき優先事項を考慮するなど、予算編成期間を通して今一度、議論並びに熟考したうえで編成に臨まれたい。

第3 令和4年度予算編成の基本方針

これまでのふるさと納税制度への積極的な取組みと財政健全化による一定の成果により、未来に向けた投資を可能とする環境のもと、時機を逸することなく、そして完了時期を堅守するべく、スピード感をもってチャレンジする姿勢が求められる。

現時点では新型コロナウイルス感染症への対応を図りつつ、公共施設の再編による必要なサービスの維持向上と時代に合った価値の創造、地域資源や民間活力を活用した投資など、将来を見据えた施策・事業に対し、これまでどおり積極的な予算編成を進めるものとする。

各所属においては、前述の「市政運営の基本的な考え方」を踏まえ、事業の発展・拡充を図るよう、第5次長期総合計画の体系に基づき、次に示す施策を重点として予算要求を行うこと。

《第5次長期総合計画に基づいた重点施策》

＜健やかにいきいきとした生活を実現できるまち＞

- ・分娩施設の早期再開と妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援など少子化対策に向けたMarry Youの強化
- ・新市立病院建設に向けた取組
- ・高齢者、障害者など誰もが活躍できる地域包括ケアシステムの構築
- ・子育て支援施設の充実に繋がる市立保育所再編の推進

＜心豊かな人を育み 地域で支え合うまち＞

- ・有和中学校の開校に向けた取組の推進
- ・質の高い教育環境に向けた「ひと」・「もの」への投資
- ・市民会館の積極的な活用と文化・芸術活動に親しむ機運の醸成
- ・市民の健康増進を図るBIG SMILEプロジェクトの推進

＜つながりが生む魅力あるまち＞

- ・箕島漁港の機能強化及び漁業の魅力と活力を生み出す未来への投資
- ・「AGRI-LINK IN ARIDA」の推進など誇りあるみかん産地を次世代に残すためのチャレンジ
- ・企業のチャレンジ応援及び官民連携の取組の強化
- ・2025年「大阪・関西万博」をチャンスと捉え、まちの魅力増進につながる取組の推進
- ・5つ星プロジェクトをはじめ観光コンテンツの開発及び観光振興につながる取組の推進
- ・田舎暮らし希望者への支援サポートによる移住定住の促進

＜安全・安心で調和のとれたまち＞

- ・有田川の輝きを取り戻す環境整備及び景観保全への取組の強化
- ・浸水被害ゼロをめざす内水浸水対策の推進
- ・災害に備えた安心安全な環境整備の強化
- ・未来のまちをつなぐ都市計画道路整備の促進
- ・空き家、公共施設跡を若者世代の希望へ変えるイノベーションの創出

＜協働を図り 未来への投資と責任ある行財政運営による持続可能なまち＞

- ・住民サービスの向上と業務効率化に向けたデジタル化の推進
- ・Society5.0時代の業務効率化による働き方改革
- ・積み増した各種基金や国県の補助金等の積極的な活用
- ・ふるさと応援寄付を通して有田市ファンを広げる取組の強化